

「ひきこもり」支援の 充実を目指して

～〈聴く耳〉を育てるために～

参加費
無料

2/1～
動画配信
あり



講師

いしかわ りょうこ

石川 良子 さん

立教大学社会学部教授

本当に必要なひきこもりの支援とは、「本人が、きちんと葛藤に向き合えるようにする」こと。その妨げとなる“ひきこもりは良くない”という、周りや当事者自身の価値観を変えていくことが大切です。周囲の物差しを押しつけるのではなく、まず当事者の思いを「聴く」ことから。どのようにすれば、無理なく「聴く耳」を育てることができるのでしょうか。

日時

令和6年

1月8日(月・祝)

13:30～15:30 (13:00開場)

会場

武蔵野プレイス 4階
フォーラム

武蔵野市境南町2-3-18

定員

90名 / 手話通訳あり(会場のみ)

※動画配信は定員制限なし

対象

講演会に関心のある方 (市民優先)

申込

事前申込み制 (先着順)

※詳しくは裏面をご覧ください。

会場参加

1月8日
(月・祝)

動画配信

2月1日(木)～
3月1日(金) 17:00

参加
方法

会場のご案内



問い合わせ・申込先

武蔵野市役所 生活福祉課生活相談係 福祉総合相談窓口
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28

TEL 0422-60-1254 (直通)

FAX 0422-51-9214

講師プロフィール



いしかわ りょうこ

石川 良子 立教大学社会学部教授

1977 年神奈川県生まれ。松山大学人文学部教授を経て、2023 年9月より立教大学社会学部教授。専攻は社会学・ライフストーリー研究。主な著書に、『ひきこもりの〈ゴール〉』（青弓社ライブラリー）、『「ひきこもり」から考える』（ちくま新書）、共編著に『ライフストーリー研究に何ができるか』（新曜社）、『ひきこもりと家族の社会学』（世界思想社）、共著に『「ひきこもり」の30年を振り返る』（岩波ブックレット）。

また、令和5年度厚生労働省社会福祉推進事業のひきこもり支援にかかる支援マニュアル（仮称）の策定に向けた調査研究事業の検討委員なども務める。

申込方法

①～⑤のいずれかの方法でお申込み下さい

お申込みいただいた方全員に、参加案内を送付いたしますので、詳細につきましては通知をご確認ください。

- ① 二次元コードよりインターネット申込み
- ② 電話 0422-60-1254 (②、③受付時間：平日午前9時～午後5時)
- ③ 窓口 市役所東棟2階生活福祉課
- ④ E-mail SEC-SEIFUKU@city.musashino.lg.jp
- ⑤ FAX 0422-51-9214



申込期限

【会場参加】

令和5年12月27日(水) 17時

【動画配信】

令和6年3月1日(金) 9時

申込・送付先

武蔵野市役所 生活福祉課 宛て

参加にあたってのお願い

事前のお申し込みをいただいていない場合、受講をお断りすることがございますのでご了承ください。

FAX用 参加申込用紙 該当する□にチェックを入れてください

氏名	ふりがな	年代	代
参加方法	<input type="checkbox"/> 会場：1月8日(月・祝)開催	<input type="checkbox"/> 動画配信：2月1日(木)～配信予定	
お住まい	<input type="checkbox"/> 市内	<input type="checkbox"/> 市外(市内在勤・在学の方)	
ご連絡先	住所 または ※メールアドレス(※動画配信の方のみ)		
立場	<input type="checkbox"/> 当事者・経験者	<input type="checkbox"/> ご家族	<input type="checkbox"/> 支援者 <input type="checkbox"/> その他関心のある方
参加にあたっての配慮事項	※会場参加の方のみご記入ください <input type="checkbox"/> 車いす利用 <input type="checkbox"/> 手話通訳 <input type="checkbox"/> その他 ()		

※ボールペンまたは濃い鉛筆を使用する等、はっきりとご記入ください ※ご記入いただいた個人情報は、本講座の申し込み以外の用途には一切使用しません